

令和4年度 事業報告書

自:令和4年4月1日

至:令和5年3月31日

一般社団法人 大学アライアンスやまなし

[目次]

1	法人の概要	2
	1-1:一般社団法人の名称	
	1-2:事務所の所在地	
	1-3:一般社団法人設立年月日	
	1-4:大学等連携推進法人の認定を受けた年月日	
2	活動概要	2
3	事業活動	3
	3-1:総務関係 (3)	
	3-1-1:会議等の開催 (3)	
	3-1-2:事務局の整備 (4)	
	3-1-3:広報機能の強化 (5)	
	3-1-4:本法人の名義使用状況 (6)	
	3-2:大学等連携推進事業関係 (7)	
	3-2-1:大学等連携推進事業の運営体制の強化 (7)	
	3-2-2:連携事業の検討体制の整備 (7)	
	3-2-3:具体的な大学間連携事業の実施 (8)	
	3-2-4:その他 (10)	
4	役員等の人事	13
	4-1:理事・監事 (13)	
	4-2:大学等連携推進評議員 (14)	
	4-3:参与 (15)	
	4-4:委員会委員 (16)	
	4-4-1:連携事業実施委員会 (16)	
	4-4-2:教育の質保証委員会 (16)	
	4-5:事務局体制 (17)	
5	監査状況等	18
	5-1:業務監査 (18)	
	5-2:会計監査 (18)	
6	登記・届出事項	18
7	会員一覧	19
	7-1:参加法人会員 (19)	
	7-2:参加団体会員 (19)	
8	附属明細書	19

※ 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 123 条第 2 項及び定款第 51 条第 1 項の規定に基づき、令和 4 年度の事業報告書を作成する。

1. 法人概要

1-1: 一般社団法人の名称

一般社団法人 大学アライアンスやまなし

1-2: 事務所の所在地

山梨県 甲府市 武田四丁目 4 番 37 号

1-3: 一般社団法人設立年月日

令和元年 12 月 18 日

1-4: 大学等連携推進法人の認定を受けた年月日

令和 3 年 3 月 29 日

2. 活動概要

一般社団法人 大学アライアンスやまなし(以下、本法人)は、大学相互間や大学と研究機関等との間における連携推進事業を行い、教育、人材育成、研究及び運営に係る各種事業を円滑に実施できる仕組みを構築し、その実施を図ることを通じ、地域を支える人材育成やイノベーションの進展に寄与するとともに、地域の発展に資することを目指している。

第 4 事業年度となる令和 4 年度においては、本法人が“大学等連携推進法人”に認定されたことにより、参加法人会員である山梨大学及び山梨県立大学(以下、両大学)は、教養教育分野の科目数増加や、看護教育分野の科目(大学院科目)追加など、教学上の特例措置を活用した“連携開設科目”を充実させている。また、連携開設科目の履修環境についても、継続的な協議により、令和 5 年度からの授業開始時間統一が合意されるなど、着実に課題解消に向けて取り組んでいる。さらに、連携教育事業に係る質保証でも、具体的な検証方法を定め、令和 3 年度の評価・検証を行うなど、更なる改善のため、教学管理体制の強化を推進している。

加えて、連携事業実施委員会傘下に設置した WG を中心に、運営及び連携事業の具体的な検討を進め、学生支援 WG を新設するとともに、研究分野に係る新 WG 設置を決めるなど、両大学間での幅広い分野での連携事業の実施・検討体制を確立した。

なお、大学等連携推進法人制度を活用した補助事業(地域活性化人材育成事業～SPARC～)に両大学が採択されたことに伴い、大学間連携の先進的なモデルとして取上げられる機会が増えており、また地域社会に対する説明責任の観点から、本法人の意義や連携事業の成果、法人運営に係る課題など、他機関が必要とする情報の積極的な発信に努めるなど、当初予定していた令和 4 年度の事業計画を概ね予定どおり実施した。

3. 事業活動

3-1: 総務関係

3-1-1: 会議等の開催

本法人の事業運営および財務等に関する重要事項を審議するため、次の会議等を開催した。また、具体的な連携事業等の協議や教育分野に係る質保証を担保するため、各種委員会及び検討WGなどを開催した。

(1) 総会

- ・ 令和4年6月29日(水) 令和4年度 定時総会
- ・ 令和5年3月6日(月) 令和4年度 第1回 臨時総会
- ・ 令和5年3月28日(火) 令和4年度 第2回 臨時総会

(2) 理事会

- ・ 令和4年6月10日(金) 令和4年度 第1回 理事会
- ・ 令和4年12月27日(火) 令和4年度 第2回 理事会(決議の省略)
- ・ 令和5年3月1日(水) 令和4年度 第3回 理事会(決議の省略)
- ・ 令和5年3月28日(火) 令和4年度 第4回 理事会

(3) その他会議等(委員会・式典等)

① 大学等連携推進評議会

- ・ 該当事項なし

② 連携事業実施委員会

- ・ 令和4年7月27日(水) 第7回 連携事業実施委員会
- ・ 令和4年10月18日(火) 第8回 連携事業実施委員会 (メール会議)
- ・ 令和4年11月29日(火) 第9回 連携事業実施委員会
- ・ 令和5年3月10日(金) 第10回 連携事業実施委員会

③ 教育の質保証委員会

- ・ 令和4年9月28日(水) 第7回 教育の質保証委員会
- ・ 令和4年11月21日(月) 第8回 教育の質保証委員会
- ・ 令和5年3月14日(火) 第9回 教育の質保証委員会

④ シンボルマーク候補作品選定委員会

- ・ 令和4年10月26日(水) 第1回 シンボルマーク候補作品選定委員会
- ・ 令和5年1月12日(木) シンボルマーク候補作品予備選考
- ・ 令和5年1月18日(水) 第2回 シンボルマーク候補作品選定委員会

⑤ 連携事業実施委員会傘下の検討 WG

- ・ 教養教育 WG [令和 4 年 7 月 14 日(木) 外 合計 7 回]
- ・ 看護教育 WG [令和 4 年 7 月 1 日(金) 外 合計 3 回]
- ・ 幼児教育 WG [令和 4 年 8 月 4 日(木) 外 合計 3 回]
- ・ 教職課程 WG [令和 4 年 8 月 4 日(木) 外 合計 3 回]
- ・ 社会科学・地域貢献 WG [令和 4 年 7 月 22 日(金) 外 合計 3 回]
- ・ 管理運営 WG [令和 4 年 7 月 14 日(木) 外 合計 3 回]
- ・ 学生支援 WG [令和 5 年 2 月 6 日(月) 合計 1 回]

⑥ 記者発表等

- ・ 該当事項なし

⑦ その他

- ・ 令和 4 年 12 月 20 日(火) 理事会への報告への省略手続き

3-1-2:事務局の整備

会員との正確かつ迅速な情報共有を図ることで効果的な連携体制を構築し、会議等をはじめ運営をスムーズに行っていくため、次のとおり、事務局の機能を強化するとともに、各種申請及び届出等を行うとともに、運営に必要な規則等を定めた。

(1) 事務局組織の機能強化

- ・ 事務局内における業務分担の見直しを行うとともに、本法人に係る申請・届出等に係る事務を担当する主査を令和 4 年 4 月 1 日付けで配置した。

(2) 事務局運営の改善

- ・ 円滑な事務局運営を行うことを目的に事務局会議を合計 20 回開催し、事務局内の意思統一や業務スケジュールを共有し、両大学の事務担当者との連絡体制を強化した。また、効率的な法人運営の観点から、業務の見直しなどを行うなど、負担軽減措置を図った。

(3) 法人運営に必要となる各種規則等の整備

- ・ 業務の適性を確保するため、本法人の運営にあたり必要となる規則等の制定及び改正を行った。また円滑な業務を遂行するため、マニュアルの整備を進めた。

(4) 関係機関等への諸手続き

- ・ 一般社団法人及び大学等連携推進法人の認定に係る諸手続きを適切に行った(詳細は、「6.登記・届出事項」を参照)。

3-1-3: 広報機能の強化

本法人の活動状況や、大学間連携の枠組みを活用した事業構想について、両大学の学生及び地域社会をはじめとする関係者に広く周知するため、次のとおり、様々な媒体を活用し、広報活動を展開した。また、マスメディアや他機関から問合せ等についても、大学等連携推進法人制度の普及等の観点から積極的に対応した。

(1) 参加大学への進学希望・検討者を対象としたホームページの充実

- ・ 適宜、本法人の活動状況に係る記事の投稿や概要説明等の記事の更新を行った。

(2) 参加大学の学生への活動内容の周知活動

- ・ 両大学の事務担当者とも連携し、各大学のホームページに連携開設科目に係る情報を掲載するとともに、ガイダンス等の機会や施設を活用した各種資料の配付・掲載など、本法人の紹介や連携事業に係る情報を発信することで、学生への周知を行った。
- ・ 両大学の学生及び高校生並びに保護者を対象とした学生向けホームページ(大学アライアンスやまなし for students)では、連携開設科目を履修した学生へのインタビュー記事を随時掲載するなど、学生目線での情報発信を行った。

(3) 地元高校生をはじめとする進学希望者を対象とした PR 活動

- ・ 両大学の連携活動を紹介するポスター18枚を甲府市役所に掲示依頼し、甲府市役所本庁舎をはじめ公民館等に掲示するなどの PR 活動を行った。
- ・ 両大学のオープンキャンパス等で配布するチラシを作成し、各大学の担当部局へ配布依頼を行った。

(4) 各種連携事業の実績等の広報

- ・ 連携開設科目を履修した学生及び連携開設科目を担当する教員へのインタビューや、授業見学の様子等の記事を学生向け HP(大学アライアンスやまなし for students)に掲載した。

(5) 広報活動に使用するシンボルマークの策定

- ・ 本法人のシンボルマーク策定に向け、募集要項の作成及び公表を行い、全国的な公募を進めるとともに、両大学の関係者(教職員及び学生)から成るシンボルマーク候補作品選定委員会を立ち上げた。
- ・ 応募総数 64 点の中からシンボルマーク候補作品選定委員会での候補作品の選定を経て、最終優秀作品及び優秀作品(各 1 点)を理事会で決定し、最優秀作品については商標登録の手続きを行うなど、策定に向けた手続きを行った。

(6) 報道機関等からの取材対応

- ・ 本法人の事業構想、両大学の連携事業などの活動や、大学間連携の意義を広く社会に発信することで本法人等に対する理解促進を図るべく、報道機関などの取材に適宜対応した。

(7) 高等教育機関等からの問い合わせ対応

- ・ 大学や関係団体等からの一般社団法人の設立及び運営、大学等連携推進法人制度に係る認定申請並びに大学間連携事業に対する問合せ等に適宜対応した。

(8) ホームページを活用した本法人の適切な情報公開

- ・ 大学等連携推進法人の認定等に関する規程第7条第1項の規定に基づき、事業報告書、決算書類(貸借対照表・正味財産増減計算書)、監査報告書を本法人のホームページに公表した〔令和4年6月29日(水)〕。

(9) その他

- ・ 山梨大学(甲府キャンパス)本部棟2階事務所前の掲示板に令和3年度の貸借対照表を掲載した〔令和4年6月30日(木)〕。

3-1-4: 本法人の名義使用状況

本法人の名義使用について、参加法人会員の各部署からの申請に基づき、下記に示す事業について名義使用の許可を行った。

(1) 共催

① 申請機関：国立大学法人 山梨大学(主催)

事業名：山梨県における幼児教育・保育の質の向上に向けて
～保幼小接続の推進と大学教育のあり方～

許可期間：令和5年3月11日(土)

(2) 後援

- ・ 該当事項なし

3-2: 大学等連携推進事業関係

3-2-1: 大学等連携推進事業の運営体制の強化

地域社会及び学生のニーズを把握し、両大学が連携して行う各種事業に反映できる体制を整え、本法人が一定のガバナンスを掛けることで実効性を担保する仕組みを構築した。

- (1) 大学等連携推進評議会を活用し、様々なステークホルダー等からの本法人の事業内容や運営に対する意見を聴取
 - ・ 令和3年度までに、大学等連携推進評議会、理事会等において外部理事等から寄せられた20項目の意見及び要請に関し、連事業実施委員会において協議を行い、検討WGごとに、今後の対応方針等の検討を行った。
- (2) 地域社会からの高等教育に対する意見等を聴取するため、関係機関等との連携を検討
 - ・ 幼児教育分野では、大学院における幼児教育領域の設置に関し、その必要性の意識や地域のニーズ等について、県内行政機関の児童福祉担当課、県内幼稚園、各種認定こども園、保育所の施設管理者を対象とした調査を実施した。
 - ・ 幼児教育振興のための両大学における人材育成に関するシンポジウムを活用して、参加者を対象に山梨県における乳幼児教育・保育の質向上に関する取組に向けたアンケート調査を実施した。
- (3) 両大学の大学間連携に係る関連部署と定期的に情報共有や、意見交換を実施することで、企画・立案機能を強化
 - ・ 本法人の運営等に係る課題の共有及び継続的な協議を目的に不定期開催であった事務局会議を定期開催(原則:第2水曜日及び第4火曜日)に改めた。
 - ・ 法人設立の経緯等を知る理事の退任など、これまでの経緯を知る本法人の関係者が少なくなることから、代表理事及び理事会からの諮問等に対応する「顧問」の職を新設するべく、関係規則を制定した。

3-2-2: 連携事業の検討体制の整備

連携事業の円滑な実施や教育の質を担保する仕組みの構築を目的に、次の活動を行った。

- (1) 連携事業実施委員会の活動
 - ・ 傘下の検討WGの所管業務を見直し、管理運営WGから移管した「進路支援」及び「国際交流支援」に加え、「修学支援」及び「地域活動支援」を所掌事項とする学生支援WGを新設した。

- ・ 外部理事等から出された意見への対応については、担当の検討 WG 等を決定し、具体的な取組等を第 2 期中期事業計画(令和 6 年度～令和 8 年度)に反映することを決定した。
- ・ 令和 3 年度に実施された教養教育 WG の連携開設科目に係る点検・評価について、教育の質保証委員会の検証結果を踏まえ、委員会として「概ね良好」と判断した。
- ・ 新たな検討 WG の設置や、既存の検討 WG における所掌の見直しに伴い、第 1 期中期事業計画(令和 3 年度～令和 5 年度)及び同工程表の見直しを行った。
- ・ 連携教育事業(連携開設科目の開設及び廃止)の実施について協議し、教養教育 WG、看護教育 WG、幼児教育 WG、教職課程 WG から提出された事業計画を「適当」と認めるとともに、教育の質保証の観点からの検証を教育の質保証委員会に依頼した。

(2) 教育の質保証委員会の活動

- ・ 連携教育事業(連携開設科目)の点検・評価の検証に必要な資料を決定するとともに、令和 3 年度に定めた「連携開設科目の点検・評価の検証にあたっての評価基準」に基づき、令和 3 年度の連携教育事業(連携開設科目)に係る点検・評価の検証を実施した。
- ・ 連携事業実施委員会からの依頼に基づき、令和 5 年度から新たに実施する連携開設科目の事業計画及び令和 4 年度をもって廃止する科目について、教育の質保証の観点から総合的に検証を行い、「適当」と判断し、その旨を連携事業実施委員会へ回答した。

3-2-3:具体的な大学間連携事業の実施

次のとおり、教育・研究分野をはじめとする様々な分野での連携事業を実施した。

(1) 学生教育の充実

- ① 令和 4 年度も教養教育分野での“連携開設科目”を両大学合わせて、129 科目を開設した(令和 3 年度から 76 科目増加)。また、学生アンケートの結果等を踏まえ、履修環境の改善を図ることで、前年度の 211 名から 177 名増の 388 名(延べ人数)へと履修者数を増加させた。
 - ・ 山梨大学 主幹科目 55 科目(県立大学の履修者数 156 名)
 - ・ 山梨県立大学 主幹科目 74 科目(山梨大学の履修者数 232 名)
- ② 教養教育分野を中心に、継続 115 科目及び新規 41 科目の計 156 科目を連携開設科目に位置付け、令和 5 年度に開講することを決定した。
 - ・ 山梨大学 主幹科目 77 科目
 - ・ 山梨県立大学 主幹科目 79 科目

(2) 高度専門人材の養成

- ① 看護教育分野では、大学院修士課程において連携開設科目が3科目開設され、1名の受講者があった。また、令和5年度は新たに3科目を連携開設科目に位置付け、合計6科目を開設することを決定した。
 - ・ 山梨大学主幹科目 1科目
 - ・ 山梨県立大学主幹科目 2科目(山梨大学の履修者数1名)
- ② 幼児教育分野では、学士課程の専門科目について、両大学間の連携の在り方の検討を進め、令和5年度から「継続観察実習」(山梨大学主幹科目)及び「保育者指導」(山梨県立大学主幹科目)の2科目を連携開設科目として開設することを決定した。
- ③ 教職課程分野では、令和5年度から「英米文学講読Ⅱ」(山梨大学主幹科目)及び「欧米の国際関係」(山梨県立大学主幹科目)の2科目を連携開設科目として開設することを決定した。

(3) 教育資源の有効活用

- ① 施設の共同利用や両大学の学生を対象とした共同就職支援事業(公務員講座・マナー講座・仕事研究セミナーなど)の開催など、教育資源を活用した取組を行った。
- ② 昨年度に引続き、両大学間の文献複写・現物貸借に係る送料(原則利用者負担)の無償化措置を継続実施し、両大学合計で172件の利用実績があった。

(4) 学生及び教職員の交流

- ① 両大学の合同講演会を5回開催し、両大学から395名の参加があった。
- ② 令和3年10月からの常勤司書の人事交流(相互に1名)を継続した(令和5年3月31日まで)。
- ③ 両大学で行った全23回の合同研修会(山梨大学主催21回、山梨県立大学主催2回)に、両大学合わせて延べ1,853名が参加した。

(5) 効率的な大学運営

- ① 令和4年度においても両大学の連携により、スケールメリットを活かした共同調達等の実施により、ランニングコストの縮減を進め、業務の効率化を図った。
- ② 年度当初から社会情勢(輸入コスト増、円安影響など)の変化により、電気料金については高騰が続く可能性が高く、スケールメリットを活かした共同調達を継続しているものの、令和4年度においては、経費節減が見込めない状況となっている。

(6) 教学管理体制

本法人では、理事会の下に2つの委員会を置いて教学管理体制を整え、連携教育事業の実施にあたっている。“連携開設科目”に係る教学管理体制は以下のとおりである(【参考】教学管理体制図を参照)。

- ・ 各検討 WG では、連携教育事業(連携開設科目)の実施に係る事業計画を策定する。この際、原則として主幹大学となる大学の質保証システムを活用することを前提に、科目の内容、方法及び成績評価の方法、基準等について、実施のための情報共有を行う。
- ・ 各検討 WG は、連携事業実施委員会に対して事業実施を要望し、連携事業実施委員会は、要望のあった事業について協議を行い、実施を了承したときは、教育の質保証委員会に対し、事業計画の内容の検証を依頼する。連携事業実施委員会は、その結果を踏まえ、理事会へ事業計画の審議を依頼し、了承を得たものを連携教育事業として実施する。
- ・ (連携教育事業(連携開設科目)の実施後)定められた手順により、教育の質保証の観点からの点検・評価の検証を実施する。教育の質保証に係る事前事後のチェックのほか、学修成果の把握・可視化のシステムを確立し、常にそのシステムを改善していくように検証を進める。

3-2-4:その他

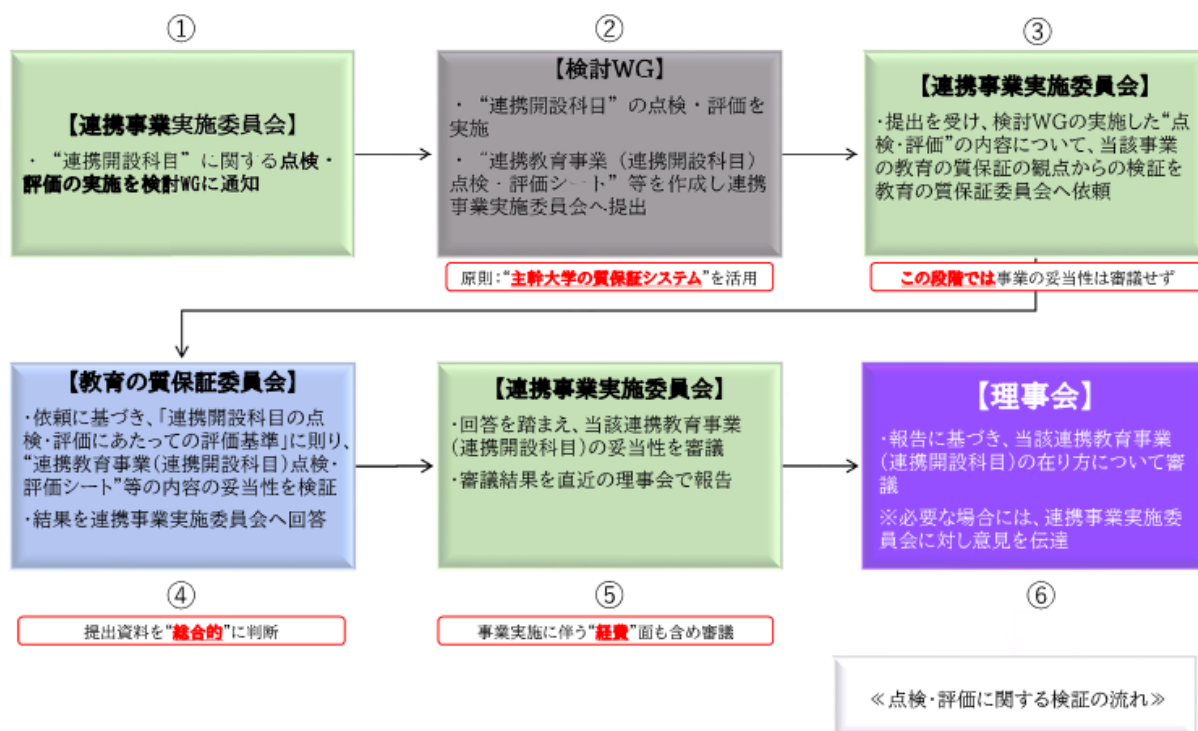
(1) 補助事業への協力

- ・ 両大学(事業責任大学:山梨大学、参加校:山梨県立大学)が令和4年度大学教育再生戦略推進費「地域活性化人材育成事業～SPARC～」(令和4年度～令和9年度)に採択された。当該事業は、大学等連携推進法人制度を活用した大学改革を取組むことから、ホームページを活用して SPARC に係る参加法人会員の活動状況を適宜発信するなど、補助事業への協力を行った。

(2) その他

- ・ 山梨県からの依頼に基づき、事務局長が「豊かさ共創会議」にオブザーバーとして出席した〔令和4年5月12日(木)、令和4年9月7日(水)、令和4年11月22日(火)〕。

“連携開設科目”に関する点検・評価の検証の流れ



4. 役員等の人事

4-1:理事・監事

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
理事 (代表)	島田 眞路	令和元年12月18日 令和3年6月30日 令和5年3月31日	就任 重任 辞任	山梨大学 学長
理事 (副代表)	早川 正幸	令和元年12月18日 令和3年6月30日	就任 重任	山梨県立大学 理事長・学長
理事	清水 一彦	令和元年12月18日 令和3年6月30日 令和5年3月31日	就任 重任 辞任	山梨大学 理事・副学長
理事	風間 ふたば	令和3年6月30日 令和5年3月31日	就任 辞任	山梨大学 理事・副学長
理事	中村 和彦	令和5年3月6日	就任	山梨大学 理事・副学長
理事	渡邊 裕子	令和3年6月30日	就任	山梨県立大学 理事
理事	奥秋 浩幸	令和3年6月30日	就任	山梨県立大学 理事
理事	進藤 中	令和元年12月18日 令和3年6月30日	就任 重任	株式会社山梨中央銀行 取締役会長
理事	飯野 奈津子	令和2年5月1日 令和3年6月30日	就任 重任	日本放送協会 専門解説委員
理事	中村 和男	令和2年10月16日 令和3年6月30日	就任 重任	シミックホールディングス株式会社 代表取締役会長執行役員 CEO
理事	渡邊 和彦	令和3年6月30日	就任	山梨県 副知事
理事 (専務理事)	小林 厚	令和4年6月29日	就任	山梨県 県民生活部長
理事 (専務理事)	白沢 一男	令和元年12月18日 令和3年6月30日	就任 重任	山梨大学 相談役
監事	八巻 佐知子	令和元年12月18日 令和3年6月30日	就任 重任	八巻法律事務所 弁護士
監事	久保嶋 正子	令和元年12月18日 令和3年6月30日	就任 重任	中山・久保嶋会計 公認会計士

任期は令和5年度定時総会の終結時まで

(参考)役員の退任状況

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
理事	小田切 春美	令和3年6月30日 令和4年6月29日	就任 辞任	前 山梨県 県民生活部長

4-2: 大学等連携推進評議員

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
評議員 (議長)	田中 久雄	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	前 中央市 市長
評議員	窪田 淳	令和3年12月8日 令和4年10月15日	就任 任期満了	甲府市 副市長
評議員	野田 嘉明	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	山梨医科大学/山梨大学医学部 同窓会 会長
評議員	山口 香	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	筑波大学 体育系教授
評議員	佐藤 喜美子	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	前 山梨県立大学同窓会 代表 〔富桜会 会長〕
評議員	海野 一幸	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	一般社団法人 ヴァンフォーレスポーツクラブ 代表理事
評議員	堀内 光一郎	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	富士急行株式会社 代表取締役社長
評議員	八田 政久	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	駿台甲府中学校・高等学校 校長
評議員	高野 孫左エ門	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	株式会社吉字屋本店 代表取締役社長
評議員	一瀬 礼子	令和3年11月4日 令和4年10月15日	就任 任期満了	公益社団法人山梨県看護協会 専務理事
評議員	弦間 正仁	令和2年10月16日 令和4年10月15日	就任 任期満了	公益財団法人山梨県国際交流協会 事務局長

任期は令和4年10月15日まで

4-3: 参与

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
参与	松川 誠司	令和4年6月10日 令和5年3月31日	就任 任期満了	山梨大学 理事・副学長
参与	相原 正志	令和4年6月10日 令和5年3月31日	就任 任期満了	山梨県立大学 理事
参与	志村 尚紀	令和4年6月10日 令和5年3月31日	就任 任期満了	山梨大学 企画部長

任期は令和5年3月31日まで

4-4:委員会委員

4-4-1:連携事業実施委員会

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
委員長	早川 正幸	令和元年12月18日	就任	(一社)大学アライアンスやまなし 副代表
委員	渡邊 裕子	令和3年6月15日	就任	(一社)大学アライアンスやまなし 理事
委員	奥秋 浩幸	令和3年6月15日	就任	(一社)大学アライアンスやまなし 理事
委員	風間 ふたば	令和3年6月15日	就任	(一社)大学アライアンスやまなし 理事
委員	松川 誠司	令和3年6月15日 令和5年3月31日	就任 辞任	山梨大学 理事・副学長
委員	白沢 一男	令和元年12月18日	就任	(一社)大学アライアンスやまなし 専務理事

(令和5年3月31日現在)

4-4-2:教育の質保証委員会

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
委員長	清水 一彦	令和元年12月18日 令和5年3月31日	就任 辞任	(一社)大学アライアンスやまなし 理事
委員	中村 和彦	令和3年6月15日	就任	(一社)大学アライアンスやまなし 理事
委員	風間 ふたば	令和元年12月18日 令和5年3月31日	就任 辞任	(一社)大学アライアンスやまなし 理事
委員	埴 雅典	令和元年12月18日	就任	山梨大学 大学教育センター長
委員	吉田 雅彦	令和3年6月15日 令和5年3月31日	就任 辞任	山梨県立大学 理事
委員	名取 初美	令和元年12月18日	就任	山梨県立大学 看護学部 学部長
委員	熊谷 隆一	令和3年6月15日	就任	山梨県立大学 国際政策学部 学部長
委員	高野 牧子	令和3年6月15日	就任	山梨県立大学 人間福祉学部 学部長

(令和5年3月31日現在)

4-5:事務局体制

役職	氏名	異動年月日	異動事由	所属機関名及びその役職名
事務局長	山田 徹	令和元年 12 月 18 日	就任	山梨大学 地域人材養成センター 地域大学連携推進室長
事務局次長	雨宮 隆	令和 4 年 4 月 1 日	就任	山梨大学 地域人材養成センター支援課長
事務局次長	丹沢 竜	令和 4 年 4 月 1 日 令和 5 年 3 月 31 日	就任 辞任	山梨県立大学 副理事長・事務局長
主査	岩村 徹	令和元年 12 月 18 日 令和 4 年 4 月 1 日	就任 異動	山梨大学 地域人材養成センター支援課 総務グループ 係長
専門職員	山本 英生	令和 4 年 4 月 1 日	就任	山梨県立大学 経営企画課 副主査
大学連携 C D	倉田 洋和	令和 3 年 4 月 1 日 令和 4 年 11 月 30 日	就任 辞任	山梨大学 地域人材養成センター支援課 大学連携コーディネーター
事務局員	小田切 麻衣	令和元年 12 月 18 日	就任	山梨大学 地域人材養成センター支援課 事務補佐員
事務局員	望月 寛子	令和 2 年 4 月 1 日	就任	山梨大学 地域人材養成センター支援課 事務補佐員

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

※ 「所属機関名及びその役職名」について、退任・辞任した役職員は退任時の役職、現職は令和 5 年 3 月 31 日現在の役職を記載している。

※ CD:coordinator(コーディネーター)の略

5. 監査状況等

5-1:業務監査

- ・ 監事が令和4年度に開催された各理事会に出席し、業務の執行状況を確認した。
- ・ 令和5年5月23日(火)に令和4年度における事業報告書(案)に基づき、業務監査を実施した。

5-2:会計監査

- ・ 令和5年5月23日(火)に令和4年度における会計監査を実施した。

6. 登記・届出事項

(1) 山梨県(総合県税事務所)

- ・ 令和4年度 県民税の均等割申告書の提出(郵送)[令和4年4月8日(金)]

(2) 甲府市

- ・ 令和4年度 市民税の均等割申告書の提出(郵送)[令和4年4月8日(金)]
- ※ 課税管理室市民税課法人諸税係

(3) 甲府地方法務局

- ・ 変更登記申請:理事の変更[登記年月日:令和4年7月7日(木)]
- ※ 6月29日理事2名(辞任及び就任各1名)の変更登記

- ・ 変更登記申請:理事の変更[登記年月日:令和5年3月16日(木)]
- ※ 3月6日理事1名(就任)の変更登記

(4) 甲府税務署

- ・ 令和4年分 給与所得の源泉徴収票関係書類一式の提出(郵送)
[令和5年1月11日(水)]

(5) 各市町村

- ・ 令和5年度(令和4年分) 給与支払報告書の提出(郵送)[令和5年1月11日(水)]

(6) 文部科学省(高等教育局 高等教育企画課 高等教育政策室)

- ・ 大学等連携推進法人の認定等に関する規程第7条第1項の規定に基づき、事業報告書、決算書類(貸借対照表・正味財産増減計算書)、監査報告書を文部科学大臣宛で提出した[令和4年6月30日(木)]。

7. 会員一覧

7-1:参加法人会員

法人名	設置者が設置する 大学名	代表者	入会日	備考
国立大学法人 山梨大学	山梨大学	島田 眞路	—	設立時社員
公立大学法人 山梨県立大学	山梨県立大学	早川 正幸	—	設立時社員

(令和5年3月31日現在)

7-2:参加団体会員

- ・ なし

8. 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。

以上

令和4年度 連携開設科目 履修状況について(山梨大学・山梨県立大学)

(教養教育分野)

注)番号が網掛けになっているものは「継続科目」、白地は「新規科目」です。

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
1	書の様式と鑑賞	教養 科目	日本の書の歴史と表現形式を理解し書を鑑賞し、手紙を書くことを通して書写力を高める。	山梨 大学	56	3	前期
2	医工学と現代社会	教養 科目	臨床医学の最新の内容をわかりやすい解説、山梨県における地域医療の実情、対策についての紹介を通じ、今後の医学の進歩の方向性について理解する。	山梨 大学	118	4	前期
3	医療の最先端	教養 科目	臨床医学の最新の内容をわかりやすく学ぶ。山梨県における地域医療の実情、対策について知る。	山梨 大学	151	13	前期
4	人体の生命科学	教養 科目	人体の複雑な構造や機能、生命の仕組みやその異常などについて理解し、ヒトの「命」の科学的背景を広く理解する。	山梨 大学	142	3	前期
5	健康とスポーツの 科学	教養 科目	運動習慣を身につけることの重要性を認識し、体力を高める方法論の基礎を学び、自らの体力を向上させるためのトレーニングプログラムを計画できる知識を身につける。	山梨 大学	88	5	前期
6	大学生活のための セルフ マネージメント	教養 科目	心身ともに健康な大学生活をおくるために必要となる心構えやノウハウについて具体的な方法を学ぶ。	山梨 大学	58	9	前期
7	家庭の中の エレクトロニクス	教養 科目	私たちの身の回りの電気・電子機器に目を向け、エレクトロニクスの基礎を広い視野で理解する。	山梨 大学	78	0	前期
8	ワインと宝石	教養 科目	山梨県の地場産業であるワイン製造や宝飾産業に関連した科目として、ブドウ栽培、ワインの製法、無機材料等について学び、県内産業の特徴を学習する。	山梨 大学	118	8	前期
9	ガイア仮説と 地球システム科学	教養 科目	大気圏、水圏、岩石圏、生物圏の構造と機能、各圏の相互作用により構築される物質循環システム、ガイア仮説等について学習し、「地球システム」の視座を会得する。	山梨 大学	69	2	前期
10	自然災害と 都市防災	教養 科目	防災の基礎知識を身につけ、自助・共助・公助の役割について理解する。	山梨 大学	118	5	前期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
11	光る分子の科学	教養 科目	発光を示す化合物に焦点を当て、分子が発光する仕組みや分光法を科学的に理解すると共に、工業製品への応用の面から、「光の世紀」にどのように寄与できるかを考える。	山梨 大学	49	0	前期
12	日本事情Ⅰ	教養 科目	「日本文化」のもつ諸相について、その由来や意味などを学ぶ。	山梨 大学	27	0	前期
13	大学生のための 言語表現	教養 科目	アカデミックな世界で生きていくために身につけておくべきコミュニケーション技法を学び、大学での学びを支える基礎力を養成する。	山梨 大学	20	1	前期
14	国際理解と 多文化共生	教養 科目	世界各国・各地域における文化、社会、教育について、歴史的かつ現代的なアプローチにより掘り下げる。	山梨 大学	10	4	前期
15	こころと体の障害 の理解と支援	教養 科目	「障害」について基本的な知識を得た上で、価値観の多様化する現代社会の一員としてのあり方について考える。	山梨 大学	18	8	前期
16	グローバルヘルス 入門	教養 科目	「グローバルヘルス」とは世界に広がる「容認できない健康格差」を是正するための様々な取組みを指す。「健康」という視点で世界の課題について考える。	山梨 大学	25	1	前期
17	これからの 機械技術	教養 科目	広範で多岐にわたる機械技術のベースとなっている基礎知識と、最新のトピックスを初心者に分かりやすく解説する。	山梨 大学	16	0	前期
18	ソフトウェア プロジェクト管理	教養 科目	ソフトウェアを円滑に開発するために重要な綿密な計画、その進捗の管理に必要な知識と技術について概説する。	山梨 大学	1	0	前期
19	特別支援教育総論	教養 科目	障害をどのように捉えるのか、障害観や障害児教育の歴史の変遷等について学習し、障害に関する客観的・科学的な知識・概念を習得する。	山梨 大学	19	1	前期
20	Health System and Well-being in the World	教養 科目	Through health or social well-being systems, we may find some problems in the world. And also we will try to be able to find some solutions for them.	山梨 大学	7	0	前期
21	人間と文化	教養 科目	人間と文化について、歴史的な観点から考える。	山梨県 立大学	14	141	前期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
22	山梨学 I	教養 科目	山梨県の魅力となっている特徴的な自然環境と、そこに展開する様々な地場産業について理解を深め、山梨の固有の風土、地域性を理解する。	山梨県 立大学	2	46	前期
23	生活環境論	教養 科目	身近な環境と私たちの生活・社会とのかかわりについて基礎的な知識を得ることにより、地域政策・環境政策を考えるための基盤をつくる。	山梨県 立大学	4	22	前期
24	生と幸福	教養 科目	「人が幸福に生きるとはどういうことか」について自ら考える機会を提供する。	山梨県 立大学	16	33	前期
25	国際協力	教養 科目	国際協力に関する基本概念を学び、地球市民という視点から貧困問題・環境破壊などの地球環境の課題について理解を深める。	山梨県 立大学	0	64	前期
26	人間と心	教養 科目	人の心の働きを多様な視点から科学的に解明しようとする考え方を解説し、日常の様々な事象を心理学的に捉える土台をつくる。	山梨県 立大学	5	133	前期
27	宇宙の科学	教養 科目	現代の科学が教えてくれる「宇宙観」を伝え、宇宙と私たちがつながっていることを伝える。	山梨県 立大学	31	199	前期
28	日本の歴史	教養 科目	江戸時代を中心に、山梨県・甲斐国の状況を理解するため、4～5本の研究論文を丁寧に読んでいく。	山梨県 立大学	0	18	前期
29	欧米の歴史 I	教養 科目	特に 20 世紀後半以降の歴代アメリカ大統領にスポットを当て、アメリカ外交の本質を理解する。	山梨県 立大学	4	33	前期
30	簿記論	教養 科目	初級簿記の全体を学ぶ。	山梨県 立大学	26	56	前期
31	倫理学	教養 科目	倫理学という学問の基本的な考え方を学び、それを通じて現実の倫理的問題を具体的に考える力を養う機会を提供する。	山梨県 立大学	4	53	前期
32	共生社会論	教養 科目	少数者と多数者との共生について、対話も通じて考えていく。	山梨県 立大学	4	36	前期
33	統計学基礎	教養 科目	統計学のもっとも基本的な考え方、とりわけ、社会や福祉にかかわる統計を読み解くための基礎を教える。	山梨県 立大学	5	38	前期
34	生活健康科学	教養 科目	基本的な日常生活の要素と健康の関連、生活環境および生活習慣と健康との関連について科学的証拠に基づいて教授する。	山梨県 立大学	9	105	前期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
35	VUCA時代のキャリアレジリエンス	教養 科目	社会の変化にしなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学ぶ。	山梨県 立大学	0	31	前期
36	地域しごと概論 (経営マインド)	教養 科目	ものづくり現場の経営者や支援者8名から、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略などを聞く。	山梨県 立大学	0	7	前期
37	地域資源の保全と 活用	教養 科目	観光資源である自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解する。	山梨県 立大学	1	11	前期
38	情報発信の手法	教養 科目	正しい情報発信の手法を学ぶとともに、手段としての情報発信の意義について学ぶ。	山梨県 立大学	0	20	前期
39	ローカル ガストロノミー論	教養 科目	地域の食や食文化について総合的に考察する考え方、概論を理解する。	山梨県 立大学	0	15	前期
40	多文化共生 地域課題 (多文化社会にお ける対人援助/外 国人と人権)	教養 科目	多文化化する地域における外国人住民の現状を知り、その諸課題について理解する。	山梨県 立大学	0	8	前期
41	多文化対応人材 育成演習(教育)	教養 科目	「海外にルーツを持つ子どもたち」のおかれた環境、背景を理解し、様々な団体の取り組みを知り、何ができるか考える力を養う。	山梨県 立大学	0	3	前期
42	多文化対応人材 育成演習 (保健・医療・福祉)	教養 科目	外国人住民の保健・医療・福祉分野における日本での現状と課題を理解し、課題解決にむけた具体的な対応・取組みを考え、専門職としての実践ができるようになる。	山梨県 立大学	0	1	前期
43	データサイエンス 入門(教育)火3	教養 科目	デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AIの基礎知識と基本技能を習得する。	山梨 大学	31	2	後期
	データサイエンス 入門(教育)木5				53	1	
	データサイエンス 入門(教育)金5				55	2	
44	子ども文化	教養 科目	企画する大人側と受け止め発展させる子ども側の諸現象を追い、質的研究の視点で読み解き、子どもを取り巻く社会と子どもの内的世界との新たな関係を論考する。	山梨 大学	119	12	後期
45	現代生活と バイオテクノロジー	教養 科目	基盤から先端までのバイオテクノロジーとそれを用いた最先端の研究内容を現代生活に関連する例も取り上げて紹介し、多様な専門分野の考え方や最先端の研究の基礎事項が説明できるようになる。	山梨 大学	25	0	後期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
46	頭と身体の運動学	教養 科目	日頃は意識されない身体動作の仕組みを、「頭と身体で」理解する。	山梨 大学	40	3	後期
47	臨床心理学を学ぶ (金 3)	教養 科目	臨床心理学の基礎を学ぶことで、誰にでも起こりうる心の問題についての理解を深め、心の問題を抱えている人に対する支援のあり方を学ぶ。	山梨 大学	111	13	後期
	臨床心理学を学ぶ (火 1)				105	9	
48	人間とコンピュータ	教養 科目	コンピュータネットワーク、プログラミング、データマイニング、人工知能等に関する授業を通して、コンピュータと人間の知的活動や社会的活動との関係を理解する。	山梨 大学	49	1	後期
49	クリスタルサイエンス	教養 科目	山梨と深く関わりのある水晶など決勝に関する科学を、講義だけでなく実験を通して理解する。	山梨 大学	16	0	後期
50	水圏植物の生物学	教養 科目	水圏植物を例として生物または生命現象の多様性と一様性を理解する。	山梨 大学	10	0	後期
51	生命を科学する	教養 科目	生理活性物質や高等生物等 5 つの異なる観点から、生命を科学的に理解するための方法やそれにより得られた知見、応用例を学び、幅広い視点から生命を科学的に理解する。	山梨 大学	29	0	後期
52	プラスチックの科学	教養 科目	プラスチックの作り方、見分け方、性質、機能を理解し、今後も進化していくその将来像についても考える。	山梨 大学	47	0	後期
53	富士山学	教養 科目	世界遺産富士山をとりまくさまざまな知の体系を学習し、多様な視点を養う。	山梨 大学	179	7	後期
54	日本古代の政治と文化	教養 科目	甲斐国の古代史を学ぶことによって、歴史学という学問の方法や考え方を習得する。	山梨 大学	53	2	後期
55	日本事情Ⅱ	教養 科目	「日本文化」のもつ諸相について、その由来や意味などを学ぶ。	山梨 大学	38	0	後期
56	How to Effectively Study a Foreign Language	教養 科目	Students will learn basic knowledge about effective foreign language learning methods.	山梨 大学	38	2	後期
57	ドイツ語圏の文学	教養 科目	各時代の文学作品と向き合いながら、ドイツ語圏の文学史も概観する。	山梨 大学	23	2	後期
58	物理パズルで親しむ身近な自然現象	教養 科目	自然現象を物理学の枠組みの中で捉え、理解する態度を涵養する。	山梨 大学	21	2	後期
59	地球環境化学とエネルギー	教養 科目	地球環境の現状と問題について大気を中心に解説する。	山梨 大学	63	0	後期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
60	メカトロニクス入門	教養 科目	問題を発見し解決するための考え方と各種方法を修得するとともに、自ら学び行動できる自律性を育成する。	山梨 大学	57	0	後期
61	現代教育政策論	教養 科目	教育を受ける権利の意義を歴史的にふまえながら理解し、それが侵されている現状と是正に向けた取り組みについて、一人ひとり考えていく。	山梨 大学	5	0	後期
	大学生のための 言語表現(後期)	教養 科目	アカデミックな世界で生きていくために身につけておくべきコミュニケーション技法を学び、大学での学びを支える基礎力を養成する。	山梨 大学	18	0	後期
62	社会と政治	教養 科目	社会制度としての「政治」の意義と役割について考える。	山梨県 立大学	11	14	後期
63	環境論	教養 科目	具体的な環境問題について多角的に学び、人間と生活環境・自然環境の関係についての基礎的理解力をつける。	山梨県 立大学	4	51	後期
64	山梨学Ⅱ	教養 科目	山梨の地域社会について総合的・複合的視点から理解を深める目的で、その土台となる山梨に特有な自然と歴史・文化を、幅広い分野にわたって学ぶ。	山梨県 立大学	0	12	後期
65	日本語の方言と 山梨	教養 科目	全国に通じる「共通語体系」と、各地の「方言体系」の総体として成り立つ日本語の実態を、言語事実に即して把握できるようにする。	山梨県 立大学	2	34	後期
66	文化と コミュニケーション	教養 科目	異文化と異質な他者について考えることを通じて、多様な視点、角度から考える習慣を身につけ、自身の「常識」や「当たり前」を省みる思考方法を修得する。	山梨県 立大学	9	103	後期
67	運動と人間－講義 (飯田)	教養 科目	運動という刺激が身体へ及ぼす作用に関心を持ち、科学的根拠に基づき何を実践すべきかを考えられるようにする。	山梨県 立大学	9	129	後期
68	運動と人間－講義 (池田)	教養 科目	運動という刺激が身体へ及ぼす作用に関心を持ち、科学的根拠に基づき何を実践すべきかを考えられるようにする。	山梨県 立大学	3	79	後期
69	人間と思想(飯田)	教養 科目	私たちに身近な主題を取りあげ、いかにそれが思想と密接であるかということ学ぶ機会を提供する。	山梨県 立大学	10	135	後期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
70	生物の科学	教養 科目	分子・細胞から個体、個体群、生態系まで幅広いレベルにわたって生物科学の基礎的事項について解説する。	山梨県 立大学	7	132	後期
71	労働法	教養 科目	労働法の全体を把握するとともに、労使いずれの側となっても正しい知識をもとに判断できる人材を育成する。	山梨県 立大学	6	49	後期
72	簿記演習	教養 科目	日本商工会議所(日商)簿記検定試験 3 級合格を目指す。	山梨県 立大学	11	26	後期
73	地域のチャレンジ 1	教養 科目	地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について考え、地域資源の持つポテンシャルについて認識する。	山梨県 立大学	3	14	後期
74	地域のチャレンジ 2	教養 科目	地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について考え、地域産業の持つポテンシャルについて認識する。	山梨県 立大学	2	11	後期
75	おもてなし マイスター 養成講座	教養 科目	サービス・ホスピタリティの意味を理解し、さらにブランディングや付加価値創造について事例を学ぶ。	山梨県 立大学	1	24	後期
76	観光実践 マネジメント講座	教養 科目	観光サービス業をはじめ、あらゆる事業に欠かせない高付加価値化。この土台となる考え方と具体的な実践マネジメント方法を学ぶ。	山梨県 立大学	3	20	後期
77	多文化社会と ことば	教養 科目	多文化共生社会における言語支援について理解し、多文化共生に向けて自分には何ができるのか考える。	山梨県 立大学	0	9	後期
78	地域課題解決 (多文化共生)	教養 科目	多文化共生社会の実現に向けた課題やその解決策等を考察し理解する。	山梨県 立大学	1	6	後期
79	グローバル ビジネススキル	教養 科目	事業戦略、知的財産の活用、マーケティング、ファイナンス、M&A をテーマとした一流の取り組みに触れる。	山梨県 立大学	1	13	後期
80	事業づくり 実践演習	教養 科目	新たな事業を企画立案・試行することを通じて、事業を生み出すためのプロセス及び手法を実践的に学ぶ。	山梨県 立大学	0	2	通年
81	政策づくり 実践演習	教養 科目	政策づくりのプロセスを学ぶとともに、相手に伝わるプレゼンテーションを考える。	山梨県 立大学	0	5	通年
82	多文化共生 サービス ラーニング	教養 科目	就労・教育現場等での一定期間にわたる体験、活動等を通して現状と課題を学び、共生に求められる現場のあり方を考える。	山梨県 立大学	0	0	通年

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
83	フューチャーサーチ	教養 科目	地域に関するプロジェクトの企画・実施などを通じて地域が抱える問題を把握し、その解決の糸口を探ることができる思考方法、活動方法を実践的に学ぶ。	山梨 大学	54	19	集中
84	災害支援	教養 科目	災害の定義と分類、災害のサイクルから、災害の基本について学修する。	山梨県 立大学	4	81	集中
85	グローバルマインド とスキル	教養 科目	世界の教養を英語で学びグローバルマインドを身につけ、自らの学びを発信するスキルを育成する。	山梨県 立大学	0	8	集中
86	地域しごと概論 (地域づくり)	教養 科目	ゲストスピーカーとの対話を通じて、ひとり一人にとって自らのキャリアを考えていく上で大切なことを探る。	山梨県 立大学	0	5	集中
87	問題発見の技法	教養 科目	地域社会の問題の根本にある問題点はなにかを見つけるための技法を指導する。	山梨県 立大学	0	5	集中
88	料理とワインの マリアージュ①	教養 科目	基本的な組み合わせのルールについて理解してもらおうとともに、体験的に学ぶ。	山梨県 立大学	1	8	集中
	料理とワインの マリアージュ②				6	3	
89	通訳入門実践	教養 科目	山梨県の代表的な観光資源について、その特色や魅力そして感動を十分に伝える通訳案内ができるようになる。	山梨県 立大学	0	6	集中
90	実用中国語	教養 科目	中国語圏の観光客に焦点を当てた、実践的なガイド研修を行う。	山梨県 立大学	0	10	集中
91	ネイチャーガイド 演習 1	教養 科目	季節に合った多様な視点で、山岳信仰などの現代的な意義や概要を学ぶ。	山梨県 立大学	1	6	集中
92	ネイチャーガイド 演習 2	教養 科目	自然環境や歴史文化財を、多様な視点でのツアーを通じて学ぶ。	山梨県 立大学	0	10	集中
93	日本ワイン歴史 マイスター 養成講座	教養 科目	「日本ワイン」をテーマに、明治期日本ワインに携わった人物にフォーカスを当て学ぶ。	山梨県 立大学	2	3	集中
94	ワークショップデザ イン	教養 科目	参加・共創型社会に求められるワークショップデザインの技術・姿勢を実践的に学び、効果的な対話の場をつくる能力を身につける。	山梨県 立大学	0	5	集中
95	まちづくりの思想と 技術	教養 科目	「作る」と「使う」の視点から私とまち(地域)を結ぶまちづくりの技術・姿勢を学ぶ。	山梨県 立大学	0	13	集中
96	事業づくりの技法	教養 科目	個人ワークやグループワークを通じて、新たな事業を生み出していくためのプロセスについて指導を行う。	山梨県 立大学	0	7	集中

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
97	政策づくりの技法	教養 科目	自治体政策担当者の視点から、ワークショップ形式により企画政策を立案するのに必要となる基礎的な知識や考え方を指導する。	山梨県 立大学	0	4	集中
98	ローカルデザイン 実践演習	教養 科目	「まちづくり」「デザイン」の思考法をもとに実際の地域課題の現場に入って企画提案を試し、実践的な思考法やプロジェクト立案力を身につける。	山梨県 立大学	0	6	集中
99	企業がチャレンジ する経営革新	教養 科目	ケーススタディ(事例研究)を通して、企業の経営革新の意義とその手法について学ぶ。	山梨県 立大学	0	12	集中
100	国際貿易実務	教養 科目	貿易実務の基本体系知識について、演習を通して、海外営業の基本を習得する。	山梨県 立大学	0	22	集中
101	事業計画づくり ワークショップ	教養 科目	事業理念の構築、マーケットリサーチ、商品設計、ブランディングなど、一連の事業計画策定の基礎的な手法を演習形式で学ぶ。	山梨県 立大学	0	10	集中
102	トレンド予測の手法	教養 科目	如何にして中長期的なトレンドを如何に予測していくか、どのような未来戦略を描いていくか、有効な知識とスキルを習得する。	山梨県 立大学	1	18	集中
103	イノベーション創造 の基礎と実践	教養 科目	イノベーションを創造できる思考体系を身につける。	山梨県 立大学	2	11	集中
104	ブランディング基礎 と実践	教養 科目	講座・ワークショップで体験し学び、受講者が高いブランディング能力を習得する。	山梨県 立大学	1	11	集中
105	企業におけるレクチャー と現場研修	教養 科目	経営者等から、企業活動の理念や概要を伺うと同時に、生産の現場を視察し、ものづくりの仕組み、戦略を体感する。	山梨県 立大学	0	14	集中
106	保健医療福祉 における文化理解	教養 科目	他者の文化を理解することから病いの経験をとらえる医療人類学的なアプローチについて学び、多文化共生社会における文化理解への道筋を見出す。	山梨県 立大学	0	0	集中
107	芸術活動をとおした 多様性協働 プロジェクト	教養 科目	それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作を体験する。	山梨県 立大学	1	6	集中
108	多文化共生の 現場を歩く	教養 科目	多文化共生に関わる現場に足を運び、現場の話や聴くことを通して、多文化共生の現状と課題を肌で感じ、理解する。	山梨県 立大学	0	14	集中
109	アントレプレナーシ ップとスキル	教養 科目	理論と実践の両輪で、地方創生の担い手たる起業家を育成する。	山梨県 立大学	2	11	集中
110	アイデア共創実践	教養 科目	事業をデザインしていく方法とそれを相手に伝える方法(プレゼンテーション)を学び、実践する。	山梨県 立大学	2	7	集中

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修学生数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
111	ビジネス共創実践	教養 科目	「Mt.Fuji イノベーションキャンプ」への参加を通じて、社会に存在する課題を自分ごととして捉える課題の発見力や共感力を育む。	山梨県 立大学	1	7	集中

(留学生対象科目)

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修者数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
112	日本語演習 A	留学生 科目	公的な場面での口頭表現能力(モノローグ)を身につける。	山梨 大学	14	0	前期
113	日本語初中級 IA	留学生 科目	日本語の初中級レベルの総合的なコミュニケーション能力を向上させる。	山梨 大学	4	0	前期
114	日本語初中級 IB	留学生 科目	日本語初中級後半から中級前半レベルへの4技能(読む・書く・聞く・話す)の実力アップを図る。	山梨 大学	0	1	前期
115	日本語中級 IA	留学生 科目	レポートや学術論文を読むのに必要な文法知識、構造に関する知識を学びながら、各自の専門分野に関する論文を独力で読んでいくための基礎的な読解力を身につける。	山梨 大学	6	1	前期
116	日本語中級 IB	留学生 科目	話題に応じた適切な語彙や表現を豊かにし、まとまりのある分かりやすい話し方を身につける。	山梨 大学	1	0	前期
117	日本語中上級 I	留学生 科目	アカデミックな場面などで必要とされるコミュニケーション能力の向上のため、話題に応じた適切な語彙や表現、専門的な話題や現代社会の話題について話す力を習得する。	山梨 大学	5	0	前期
118	日本語上級 I	留学生 科目	レポートや学術論文などを書く力を養成する。	山梨 大学	3	0	前期
119	ビジネス日本語	留学生 科目	ビジネス場面で使用される日本語の基本的な表現力を身につける。	山梨 大学	14	0	前期
120	現代日本事情	留学生 科目	留学生が日本の社会・文化・習慣等を学び、世界(母国)との比較を通じて「違い」や「共通点」を発見する。	山梨県 立大学	0	1	前期
121	アカデミックジャパニーズ(Writing)	留学生 科目	大学で授業を受ける上での書く力、ノートを取る力を養成する。	山梨県 立大学	0	1	前期
122	アカデミックジャパニーズ(Reading)	留学生 科目	読んだ情報、内容を口頭および書いて伝える力を育成する。	山梨県 立大学	0	1	前期

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修者数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
123	日本語初中級ⅡA	留学生 科目	日本語初級後半から中級前半レベルへの4技能の実力アップを図る。	山梨 大学	9	0	後期
124	日本語初中級ⅡB	留学生 科目	初級後半から中級前半レベルへの4技能の実力アップを図る。	山梨 大学	5	0	後期
125	日本語中級ⅡA	留学生 科目	中上級、上級レベルに向け、必要な情報を整理し、日本語で自ら発信する技能を身につける。	山梨 大学	17	2	後期
126	日本語中級ⅡB	留学生 科目	文章による日本語の表現技術を身につける。	山梨 大学	9	1	後期
127	日本語中上級Ⅱ	留学生 科目	大学での学びを円滑に進められるよう、レポートや論文など、アカデミックな文章を書くための文章構成力を向上させる。	山梨 大学	9	3	後期
128	日本語上級Ⅱ	留学生 科目	情報収集、文献調査、情報伝達、調査分析、口頭発表などを通して4技能のレベルアップを目指す。	山梨 大学	4	1	後期
129	日本語 LR	留学生 科目	JLPT N1 相当の読解力、聴解力を習得することを目標としたコース。	山梨 大学	15	3	後期

(看護教育分野:大学院)

No.	科目名	種類	概要	主幹 大学	履修者数		備考
					山梨 大学	山梨県 立大学	
130	国際看護学特論	大学院 科目	世界に広がる「容認できない健康格差」を対象とし、その解決のために看護が果たす役割と課題について考える。	山梨 大学	0	0	前期
131	看護政策学	大学院 科目	看護政策と看護政策過程の理解を深め、地方における医療・看護の現状と政策決定過程を教授する。	山梨県 立大学	1	3	前期
132	コンサルテーション	大学院 科目	コンサルテーションの概念、プロセス、タイプとモデル、技法を教授する。	山梨県 立大学	0	4	後期